

～種苗交換会の歴史～

種苗交換会は、秋の収穫に感謝し、全県から農産物を集めて品評会を行うとともに、営農と生活の安定向上のため、精農らによる談話会を開き、秋田県農業を発展させるため開く秋田県農業界の一大行事である。

農村の指導者として全国的に名の知られた石川理紀之助翁は、県の勸業課に籍を置き、明治初年、県内農村指導者4人（大館の岩沢太兵衛氏ほか）を勸業係に命じて本県の農業改良に尽させた。さらに明治10年頃から県内の大小区長55名を協議員とする勸業議會を設け、明治11年9月の会議で由利郡の佐藤九十郎氏から提出された「種子交換の議」を取り上げ、同年11月に第1回の「種子交換会」を開催した。これと同時に「勸業談話会」を開いて農事の研究に広く意見を交換した。明治13年から石川翁の主唱によって出品物の審査を行い、明治15年には苗木の出陳を加えて「種苗交換会」に改称した。以来1回の休会もなく引き継がれて今日に至っている。



11月2日(水)

- ◆市民文化会館
  - ・第27回秋田県農業委員大会 (12時30分)
  - ・秋田県土地改良事業推進大会 (13時30分)
- ◆中央公民館
  - ・談話会「稲作生産の効率化と複合作目の拡大」 (11月20日13時～20日12時)
- ◆秋北ホテル
  - ・住まいの省エネルギー講習会 (13時30分)

11月3日(木)

- ◆中央公民館
    - ・談話会「農村生活と若妻の組織活動」 (3日13時～4日12時)
  - ◆桂城公園
    - ・秋田大展覽会 (9時)
  - ◆広域交流センター
    - ・秋田県老人福祉展「生きがいある老後を求めて」 (5日まで、9時～17時)
  - ◆市民文化会館
    - ・第24回秋田県農民健康会議 (10時30分)
    - ・AKT公開録画「クボタ民謡お国めぐり」 (13時30分)
- ※入場券が必要です。詳しくは秋田テレビ(49・1266)がポスターのあるお店へ。

11月4日(金)

- ◆市民文化会館
  - ・第41回秋田県農業共済大会 (11時)
  - ・大館市美術展 (7日まで、9時～17時)
- ◆農業会館
  - ・秋田県協営農指導員大会 (13時)
- ◆中央公民館
  - ・工サ米懇談会 (13時)
- ◆桂城公園
  - ・比内鶏、金八鶏、声良鶏展 (6日まで、9時～17時)

11月5日(土)

- ◆市民文化会館
  - ・シンポジウム「いま、食卓を考える」 (10時30分)
  - ・郷土芸能と民謡祭り (13時)
- ◆働く婦人の家
  - ・婦人会館まつり (6日まで、10時～21時)

11月6日(日)

- ◆市民文化会館
  - ・緑の文化講演会と郷土芸能(13時)
  - ・ABS「内山田洋とクールファイブショー」 (14時と18時)
- ◆長根山アストロ
  - ・アストロジャンプ大会 (9時30分)
  - ・市場まつり(9時～12時)



11月7日(月)

- ◆市民文化会館
  - ・褒賞授与および閉会式 (13時)

市長の対話ノート



No.77

種苗交換会の意義

「豊作の喜びの中での交換会を」と熱望していましたが、それが実現になり、残るは成功を祈るのみとなりました。

農協はじめ農業者はもとより、商工会議所など市民あげての準備体制が整い、成功に向けて具体的に活動していただいている最中です。この後は多くの方々に種苗交換会の目指す内容と行事を知っていただくことと、参加していただく努力をすることです。

農民の祭典として定着した交換会ですが、今日的にはそればかりではありません。「消費者に奉仕できる農業はどうあるべきか」を農業者自身が生産物や催しを通じて考える機会であると同時に、消費者にとっては「健康や栄養、価格の面から、農業に何を求めるか」を意志表示する機会でもあると考えます。

農業の好不況は地域経済に大きな影響を及ぼすことは、二年続きの冷害害でいやという程知らされました。しかし一方、消費者にとっては「より良いものを、より安く」という願望があります。この両者の両立を国の内外の諸々の事情の中で、正しく確立しなければならぬのです。

交換会の今日的意義はここにあらうかと存じますので、最大限のご参加とご活用を願ってやみません。

留山健治郎

お願

い

◆会期中は、会場周辺の道路や駐車場が相当混雑するものと予想されますので、なるべくバスにより各会場へおこしください。会場周辺は、交通規制（午前

9時～午後4時）が行われますのでご協力ください。会場や行事によっては、定員がありますので、満員のときは入場をお断りすることもあります。